Town Topicks
まちの話題

地域医療の充実へと篤志寄附
小田　稔　氏

2月18日、小田　稔　氏から福祉事業基金に100万円、公共施設整備基金に100万円、合計200万円の篤志寄附をいただきました。

特に、公共施設整備基金への100万円は、新設されるクリニックさろまの医療機器などの購入に充て、地域医療の充実へ役立ててくださいと、稔氏の奥様、良子さんから川根町長へ手渡されました。

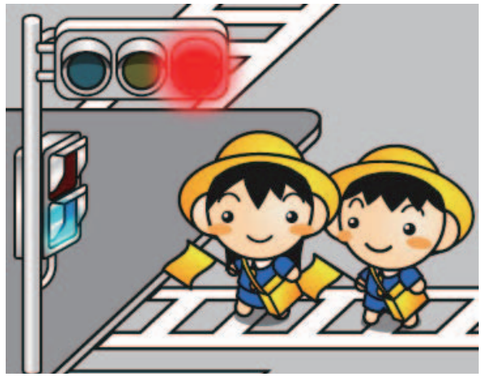
川根町長は「この寄附金は、医療設備の充実、福祉の充実のために、効果的に活用させていただきます。ありがとうございます。」とお礼と感謝の言葉を述べられました。大変ありがとうございました。

２年間集めたリングプルを寄附
車いす事業に役立てて！
浜佐呂間小学校

各北海道新聞販売所が協力して実施しているリングプルを回収し、車いすと交換する事業で、浜佐呂間小学校の児童たちが、2年間かけて集めたリングプル約45kgを北海道新聞販売所の新海さんへ寄附をしました。浜佐呂間小学校がリングプルの寄附を行うのは今回が5回目で、過去に4回寄附をし、一昨年は交換した車いすを浜佐呂間活性化センターへと寄贈していただいています。車いすの交換は事業に参加している地域へ必要量リングプルが集まり次第、順番に寄贈されています。児童たちの永年にわたる活動に感謝します。

セーフティーロード☆サロマ
Traffic Safety
[交通安全]

新入学（園）期の安全旬間
4月6日～4月15



入学式の時期を迎え、新入学児がランドセルを背負って登下校する姿がみられるようになります。また、雪解けとともに、子どもたちの外での活動も活発になってきます。

子どもたちは遊びに夢中になると、危険の判断をできなくなることが多く、道路へ急に飛び出したり、危険な場所へも入っていってしまいます。

これからの時期、運転手の方は通学路など子どもたちが通行すると思われる場所では、特に注意して安全運転をお願いします。

保護者の方は普段から子どもたちに交通ルールについて話したり、散歩などの際に交通安全を実践するなどしましょう。

子どもの事故は自宅付近が危険！

警視庁が公表している、子どもの交通人身事故発生状況を見ると、子どもの交通人身事故の特徴は、自宅から半径500m以内での発生が最も多いことです。友達と遊んでいたり、ウキウキしながら遊びに行く途中の注意不足が原因と思われます。

事故内容では、道路の横断中、自転車の事故、対象では小学生の男子児童による事故が多くを占めています。

交差点では自転車利用者、歩行者も一時停止をし、車が来ていないことを確認してからわたるようにしましょう。

また、信号に従って横断舗道をわたっていても必ずしも安全とは限りません。右折・左折をする車や信号の変わり目で進入してくる車などがいるかもしれません。青になったら右左をよく見て安全確認をしてからわたるようにしましょう。

幼児の事故では、駐車場や道路で親を追いかけて、子どもだけが車にひかれてしまう事故が少なくありません。保護者の方は車から降りたら目を放さず手をつなぐなどして、安全を確保しましょう。

家庭はもちろん、地域で子どもの安全を考え、協力し、悲惨な交通事故を無くしましょう。

▼STOP ザ 交通事故
みぎひだり
よくみていのち
まもろうよ
佐呂間小学校3年　林　日奈乃

▼交通事故発生状況
（平成27年2月末現在）
発生　0件（－1件）
死亡　0人（±0人）
傷者　0人（－5人）
（　）内は前年比
発生件数は人身事故の件数

▼交通死亡事故ゼロ運動
605日（3／20現在）

交通事故…もしものときは

交通事故にあったが、どうしたらよいのかわからない、損害賠償の額が適正かどうか知りたい、示談をどのように行ったらよいか?、残された遺児への生活（教育）資金の手当ては?など、万が一交通事故にあってしまった場合に北海道では〝無料〟の交通事故相談所を設置し、専門の相談員が相談に応じています。

☆無料交通事故相談所
Tel　050・3533・4703
○相談時間　9時～17時
※土・日曜日、祝日、年末年始を除く。